

平成29年度事業報告

● 基本方針

昨年は、法人の基盤となる第1類正会員（以下、地区協会）はもとより、地区協会本会員との連携を深めつつ法人運営の健全強化取り組んだ。

国と道が進める「アイヌの人たちの生活向上に関する推進方策」及び公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構（現、アイヌ民族文化財団）との連携を保ちながら政策検討や事業実施について働きかけを行った。

また「民族共生象徴空間」の整備については、2020年の開設に向けアイヌ民族の心の拠り所となるよう積極的に働きかけた。

「先住民族の権利に関する国際連合宣言（以下、国連宣言）」を参照し、「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会（以下、有識者懇談会）」報告書に基づく施策の実現とともに、「アイヌ文化振興法」制定時に残された課題を始め、先住民族アイヌに関する総合的なアイヌ政策を確実に推進していく根拠となる新たな法律の制定（立法措置）について、国民理解を得るため、国民を代表する国会議員への要請活動を行った。

< 2つの項目 >

- 1 組織・活動強化の推進
- 2 事業の推進

1 組織・活動強化の推進

1 要請活動等の展開

アイヌ文化振興法の制定趣旨に基づき、アイヌ文化財団の各種事業展開と密接な連携・協力関係を築きながら、助成事業の実施に取り組んだ。

先住民族としての政策を確立するための活動や訴えについては、超党派議員連盟『アイヌ政策を推進する議員の会』（以下、国会議員連盟）をはじめとした国会議員や関係行政機関に対して働きかけた。

「国連宣言」や「人種差別撤廃条約」の内容についての国内理解を促進するとともに、先住民族に関連する情報を入手し、我が国における先住民族の認知がより一層定着する活動を続けた。

また、北海道大学アイヌ・先住民研究センター、各種学会、（公財）人権教育啓発推進センター、反差別国際運動等との情報交換に努めた。

(1) 「アイヌ文化振興法」の施策活用

アイヌ文化の伝承・保存活動への取組みを推進するため、各地区協会はもとより、各古式

舞踊保存会などで会員一人ひとりがこの施策を有効に活用できるよう、事業の周知と実施方法についての助言、助力を行った。

(2) 政府並びに各政党に対する働きかけ

アイヌ民族に関する新たな法律の制定に向けて、国民理解を得ることが重要課題であることから、あらゆる機会を通じて要請活動を行った。

○国会議員（衆参両院）への要請活動	平成29年6月3日（月）～5日（水）
○衆議院議員当選者への要請活動	平成29年12月11日（月）～13日（水）
○アイヌ政策を推進する議員の会への要請	平成29年6月4日（火）
〃	新役員への要請
	平成29年12月11日（月）～13日（水）
	会 長：吉川貴盛衆議院議員
	幹事長：堀井 学衆議院議員
	事務局長：鈴木貴子衆議院議員

①中央陳情等

・菅 義偉 内閣官房長官 平成29年9月27日（東京）

②政党等

・鈴木宗男 新党大地代表 平成29年4月29日（札幌）
平成29年9月26日（東京）

・橋 復興大臣 平成29年7月13日（札幌）

・今津 寛 衆議院議員 平成29年7月31日（札幌）

・堀井 学 衆議院議員 平成29年8月22日（苫小牧）

・横山信一 参議院議員 平成29年8月22日（札幌）

・吉川貴盛 衆議院議員 平成29年8月31日（札幌）

〃 平成30年3月17日（札幌）

・佐藤英道 衆議院議員 平成29年12月9日（札幌）

・徳永エリ 参議院議員 平成29年9月5日（札幌）

③関係省庁への要請

・松永 明 内閣審議官 平成29年 5月17日（札幌）

・平井裕秀 アイヌ総合政策室長 平成29年10月20日（東京）

④北海道への要請

・アイヌ政策を考える懇談会 平成30年2月7日（札幌）

(3) 象徴空間整備に関する施策の推進の働きかけ

2020年4月開設となる象徴空間の整備、管理運営については、「有識者懇談会報告書」で提言されているとおり、今後のアイヌ政策は、先住民族であるアイヌの文化の復興に配慮すべき強い責任が国にあるという認識に基づき、国が中心となり担うべきであることを強く国に働きかけた。

一方、象徴空間の一体的な運営には、アイヌの主体的参画を確保することが最も重要な観点であるとし、アイヌ政策推進会議、政策推進作業部会などで働きかけた。

また、アイヌ文化は地域差があり、それぞれの文化が尊重されるよう、象徴空間整備・イオル事業などが密接に連携し、他地域とのネットワークが構築されるよう働きかけた。

アイヌ人骨の返還・集約等については、これまでの理事会を経て方針を定め、総会におい

て決議されたところであり、遺骨承継者に返還できる遺骨を除き、速やかに当該施設に集約し、一刻も早く尊厳ある慰霊体制を確立することを求めた。

①アイヌ政策推進会等への出席

◇アイヌ政策推進会議（第8回）

日時：平成29年5月23日（火）

場所：総理大臣官邸

議事：「政策推進作業部会報告」について
意見交換

◇政策推進作業部会

第31回 平成29年4月21日（金）

- ・アイヌ遺骨について
- ・政策推進作業部会報告（素案）について

第32回 平成29年10月6日（金）

- ・象徴空間整備について
- ・アイヌ遺骨等について
- ・国民理解の促進について
- ・政策再構築について

第33回 平成30年3月23日（金）

- ・象徴空間整備について
- ・アイヌ遺骨等について
- ・政策再構築について

◇中核施設整備RT（体験交流館）

第1回 平成29年6月22日（木）

第2回 平成29年7月26日（水）

（4）遺骨・慰霊について

- ・平成29年5月10日 北海道大学新学長への要請（慰霊の費用、推進）
- ・平成29年6月8日 オーストラリア大使との面談（2体返還）

①象徴空間整備工事に伴うカムイノミへの協力（主催者：幌村建設）

- ・駐車場工事 平成29年4月25日
- ・慰霊施設建設用地造成工事 平成29年6月3日

②ドイツにおけるアイヌ遺骨の返還式及び北海道大学における納骨式

- ・平成29年7月31日 ドイツ「ベルリン人類学民族学先史学協会」が保管するアイヌ遺骨1体の返還式（在ドイツ日本大使館大使公邸／ベルリン）
- ・平成29年8月2日 北海道大学アイヌ納骨堂に安置

③北海道博物館におけるイチャルパへの協力（主催者：北海道博物館）

- ・平成29年11月13日 北海道博物館 1階ロビー

④研究のあり方学協会等三者円卓会議（3学協会共同RT）

研究成果の社会還元並びに3学協会協議等の周知を目的にした「考古学・人類学とアイヌ民族－最新の研究成果と今後の研究のあり方－」講演会を実施した。

また、研究のあり方学協会等三者円卓会議において、人類学や考古学等の研究成果が分かりやすく、一般及びアイヌの方々に伝える概説書の作成について検討した。

○考古学・人類学とアイヌ民族－最新の研究成果と今後の研究のあり方－講演会

・日時 平成29年12月17日

・場所 東京大学

(5) 農林漁業対策の推進

農林漁業対策については、地域の営業実態に応じた生産基盤や近代化施設の整備を進めるため、引き続きアイヌ農林漁業対策事業の積極的な活用を図るとともに、団体会員への制度理解に努めた。

(6) 住宅対策の推進

住宅の改善を促進するため、継続的な予算措置を求めた。

(7) 先住権、人権に係わる機関・組織等に対する働きかけ

① 法務省の啓発事業「アイヌの人々の人権擁護の観点からの啓発」への協力をするとともに、イランカラブテキャンペーンなどの啓発事業や各種人権啓発資料の活用などにより、人権思想の普及・啓発に努めた。

② アイヌ民族の先住域である千島、樺太、北海道などの歴史的な実証資料や図書資料の収集につとめた。

アイヌ協会活動に関する理解、アイヌ史の正当な位置づけを求めるため、歴史学研究会、日本考古学協会、日本文化人類学会、日本人類学会などの各種学会や北海道大学「アイヌ・先住民研究センター」へ働きかけ、「アイヌ学」や「アイヌ史」の構築に向けて、協力、連携を進めた。

③ 「FSC森林認証制度における管理木材リスク評価」について

「製紙会社が調達する北海道産木材がアイヌの伝統文化継承を阻害するような森林伐採に由来しないか、或いは森林域においてアイヌ文化の振興・発展にどのような支援が必要か」といった観点で王子製紙と日本製紙が実施するヒアリングに道協会・関係地区協会が協力した。

また、FSCジャパンの国内森林管理規格策定に関する先住民族ワーキンググループの検討作業に参画し、第5版規格改定作業に意見を述べ、概ね主張が反映され引き続きの作業が進められることとなった。（平成30年度終了予定）

(8) 伝統的生活空間再生の働きかけ

イオル推進委員会を開催し、情報の共有と今後の空間整備のあり方について協議した。

日 時：平成30年2月13日（火）

場 所：かでの2・7

参加地区：白老、平取、札幌、新ひだか、帯広、釧路（阿寒）

(9) 自主的啓発活動の推進

平時、内外からの照会に応じて啓発活動の推進に努めた。

あわせて広報紙、冊子、チラシ、道の啓発誌、DVDなどをとおして、平時継続的な周知を図った。

(10) ホームページの充実

当法人のホームページをリニューアルし、アイヌ協会の活動方針や各種資料、最新の情報提供に努めた。

また、新規会員募集についての情報提供を行った。

(URL : <http://www.ainu-assn.or.jp>)

(11) 「アイヌ文化交流センター」の運営への協力

全国に向けたアイヌ文化の発信拠点として、東京都に設置されている「アイヌ文化交流センター」との連携を図り、事業運営等に協力した。

(12) 道外在住アイヌに対する施策実現への働きかけ

国が主体となった総合的なアイヌ政策を本道に加え全国を対象に推進していく根拠となる法律が制定されるよう国に要請していることから、関東域の関係団体・個人と連絡を密にして情報共有し、今後の取り組み方について意見交換を行った。

また、東京オリンピック・パラリンピックにおけるアイヌ文化発信プログラムの企画検討に関東域の関係団体とも連携し、協議を行った。

(13) アイヌ生活実態調査等への協力

北海道庁が一年前倒しで実施した「北海道アイヌ生活実態調査」に協力するとともに、内閣官房がアイヌ政策の再構築の検討を目的とする「アイヌ政策再構築に係る地域説明会」に連携協力し、道内11箇所、道外(首都圏)1箇所において実施した。

(14) 北海道大学アイヌ・先住民研究センターとの事業連携

同センター実施事業への協力を行うとともに、当協会事業に対するセンター教員等の支援協力を得た。

(15) 北海道博物館(アイヌ民族文化研究センター)とも連携を密にし、事業の推進に協力した。

(16) 教科書等のアイヌ民族に関する調査研究

平成29年3月31日に公示された小・中学校の新しい学習指導要領では、小学校は平成32年度から、中学校は平成33年度から施行されることになった。

文部科学省では、教科書会社等に対してアイヌの歴史や文化に関し、新しい小・中学校学習指導要領の趣旨等を十分に理解し執筆されるよう説明会を開催し、加藤理事長をはじめ内閣官房アイヌ総合政策室、北大・アイヌ先住民研究センター、アイヌ文化伝承者・実践者らが出席し講演を行った。

- ・平成29年10月19日 内閣官房主催のアイヌに関する教科書編集セミナーへの参加
(教科書出版会社)

(17) 教育相談員の配置等

既存の北海道教育庁、市教育委員会に配置されている教育相談員と協力・連携し、地元の意向に即した支援を行った。

(18) 図書・刊行物等の過誤対応

図書、各種出版物や観光資料などの記述に過誤があった場合は、速やかに改善を求めていくとともに、観光バスガイドテキストの有効活用、(公社)北海道観光振興機構に設置された「アイヌ文化部会」など関係機関と連携、協力しながら正確な知識の普及に努めた。

(19) 「記念事業等のあり方」対応

北海道命名150年記念事業の実施に向けた「北海道150年実行委員会」に参画し先住民族アイヌの歴史・文化について正しい理解の基に検討が進むよう働きかけた。

市町村が実施する記念事業の中で内容に不適切な事例は見られなかった。

2 組織の強化

(1) 団体会員等との連携強化

アイヌウタリが一致団結し運動を展開するため、過去の不祥事で生じた協会返還金に当時の役員が結束しその責任を果たすなど、負の経験を省み二度とくり返さぬよう常に心に刻むこととし、各地区協会（団体）や会員（本会員）への情報提供や共有を図りつつ、組織運営に努めた。

各地区協会の総会、役員会等に出向き事務・会計などの相談に応じつつ、地区別懇談会を開催してきた。

また、「会員研修事業」や「アイヌ協会役員研修・連携会議」を有効に活用し、会員の意識の向上と組織連携や強化を図った。

<参加地区、出席役員一覧表>

※各地区協会からの通知、報告もとに掲載

期 日	行 事 名	出席役・職員
平成29年 3月26日(日)	帯広アイヌ協会総会	
4月 5日(水)	標津アイヌ協会総会	
4月 7日(金)	厚真アイヌ協会総会	
4月 9日(日)	新冠アイヌ協会総会	理事長
4月 9日(日)	千歳アイヌ協会総会	
4月 9日(日)	上士幌アイヌ協会総会	
4月10日(月)	弟子屈アイヌ協会総会	
4月15日(土)	伊達アイヌ協会総会	
4月16日(日)	平取アイヌ協会総会	
4月16日(日)	えりもアイヌ協会総会	理事長
4月16日(日)	むかわアイヌ協会総会	
4月19日(水)	釧路アイヌ協会総会	
4月21日(金)	白老アイヌ協会総会	
4月22日(土)	苫小牧アイヌ協会総会	
4月23日(日)	白糠アイヌ協会総会	
4月23日(日)	浦河アイヌ協会総会	
4月23日(日)	洞爺湖アイヌ協会総会	
4月27日(木)	室蘭アイヌ協会総会	
4月30日(日)	三石アイヌ協会総会	
4月30日(日)	様似アイヌ協会総会	

期 日	行 事 名	出席役・職員
4月30日(日)	新ひだかアイヌ協会総会	理事長
4月30日(日)	浦幌アイヌ協会総会	
5月 7日(日)	胆振地区連合アイヌ協会総会	
5月10日(水)	阿寒アイヌ協会総会	
5月12日(金)	登別アイヌ協会総会	
5月13日(土)	新ひだか シベチャリ武四郎まつり	
5月14日(日)	日高地区アイヌ協会連合会総会	
5月14日(日)	幕別アイヌ協会総会	
5月21日(日)	札幌アイヌ協会総会	
5月30日(火)	様似 イチャルパ	
6月 3日(土)	江別アイヌ協会総会	
6月 4日(日)	新ひだか 第29回イチャルパ	
6月18日(日)	標津 第9回標津イチャルパ	理事長
6月24日(土)	平取アイヌ協会青年部第7回ウレケク	
6月25日(日)	苫小牧市美術博物館カムイノミ・イチャルパ	
7月8日(土)	阿寒 第1回カパチェプ(ヒマス)祭	
7月 7日(金)	長万部 先祖供養祭	理事長
7月22日(土)	豊浦 カムイノミ・イチャルパ	理事長
7月23日(日)	苫小牧 丸木舟川下り	
7月23日(日)	網走 チパシリアイヌイチャルパ祭	
8月 6日(日)	白糠 第39回ふるさと祭	
8月 6日(日)	むかわ アイヌ碑カムイノミ	
8月11日(水)	白老 第13回白老アイヌ碑慰霊祭	理事長
8月13日(日)	八雲 ウタリ先駆者鎮魂之碑へのお参り	理事長
8月19日(土)、20日(日)	釧路 第46回コタン祭り	
8月27日(日)	むかわ 第34回碑前祭	
8月29日(火)	阿寒 第28回阿寒町納骨堂イチャルパ	
9月 3日(日)	浦河 平成29年度イチャルパ	

期 日	行 事 名	出席役・職員
9月 3日(日)	千歳 アシリチェブノミ	
9月 3日(日)	白糠 第22回フンペ祭	
9月 5日(火)	恵庭アイヌ協会総会	
9月10日(日)	釧路 第36回カムイチェップ祭	
9月9日(土)、10日(日)	根室 第43回ノッカマップ・イチャルパ	
9月17日(日)	苫小牧 カムイチェップノミ	
9月18日(月)	新冠 第35回イチャルパ	
9月17日(日)	苫小牧 第11回 カムイチェップノミ	
9月23日(土)	第71回シャクシャイン法要祭	理事長
9月29日(金)	室蘭 絵鞆先住民慰霊碑祭	
10月 1日(日)	厚真 カイムノミ・イチャルパ	
10月 8日(日)	三石 第24回イチャルパ	
10月 8日(日)	むかわ シシャモ・カムイノミ	
10月22日(日)	浦河 パセオンカムイカムイノミ	
10月29日(日)	函館 イチャルパ	
11月 5日(日)	白糠 第38回ししやも祭	
11月18日(土)／19日	胆振・日高地区連合会研修会	理事長
11月26日(日)	第37回浦河アイヌ協会敬老会	
12月17日(日)	日高アイヌ協会設立総会	菊地理事、貝澤、須貝
平成30年 1月14日(日)	千歳 アシリパノミ	
1月21日(日)	苫小牧 アシリパカムイノミ	
1月28日(日)	むかわ アシリパカムイノミ	
1月30日(火)	釧路地区連合会 講演会	理事長
2月 4日(日)	むかわ 第24回チセコロ・カムイノミ	
2月9日(金)	長万部アイヌ協会総会	理事長
2月18日(日)	シシリムカアイヌ文化祭	
2月25日(日)	八雲アイヌ協会総会	須貝次長

(2) 立法措置による全国展開のアイヌ施策への具現化

新しい法律制定を目指し、国民理解を深めていただくため、国民を代表する衆参両院議員に要請書を持参しご理解とご協力をお願いした。

(3) 国際文化交流事業の推進

青少年の海外研修事業が平成24年度からアイヌ文化財団の直轄事業として創設されたことから、この事業への協力、会員子弟への参加奨励など、組織強化につながる人材育成事業の取組みを支援した。

(4) 会員研修事業の開催

協会理事会と各関係団体は常に情報を共有し密接な連絡調整を保つことが重要であることから、団体代表者等が一堂に集い、研修・意見交換を行った。

日 程：平成30年3月24日(土)～25日(日)

場 所：TKR札幌ビジネスセンター 5階

参加者：各地区協会代表者 18名

内 容：研修会

講演

- ・「先住民族アイヌの新たな法律制定に向けて－台湾平埔の事例などから－」
常本照樹氏（北大アイヌ・先住民研究センター長）

報告

- ・「アイヌ政策を巡る現状と課題」
小山 寛氏（内閣官房アイヌ総合政策室参事官）

自由討議、意見交換

(5) 地区別懇談会の開催

「アイヌ文化振興法」の活用や協会活動などへの理解と参加促進、団体活動の活性化と団体組織の強化を図るため、各団体が抱えている課題や実情に応じた地区別懇談会を開催した。

地 区	日 程	場 所	内 容
胆振東部 (合同)	平成29年9月10日(日) 14:00-16:00	むかわ町 ムペット館	(1) アイヌ政策推進会議及び作業部会 等の進捗や協会取組について
日 高 (合同)	平成30年2月4日(日) 13:00-14:00	新ひだか町 三石	(2) 今後の協会取組の展開等について (3) 意見交換

(6) 青年女性対策の推進

青年の立場、女性の立場から文化の伝承・保存や組織強化の活性化などについて研修を行った。また、全道から集まった会員との交流を通じて、他地域の現状や取組について情報共有が図られた。

「青年・女性の集い」の実施

- ・日 程：平成29年10月21日(土)～22日(日)
- ・場 所：国立日高青少年自然の家
- ・参加者：各地区協会本会員(家族)、事務局 33人
- ・内 容：アイヌ文化ワークショップ(ウポポとリムセノアイヌ語)
意見交換
「東京オリパラに向けたアイヌ文化発信の検討状況」秋辺日出男氏
各地区協会活動報告

(7) 各種相談員の合同研修会などの実施

会員の生活・経済の向上と団体活動の活性化を図るため、生活・職業・教育相談員、さらに経営改善普及指導員による合同研修会や特別研修会を開催した。

アイヌ関係各種相談員研修会

- ・日 程：平成29年7月10日(月)～11日(火)
- ・場 所：札幌市(かでの2・7)
- ・参加者：生活相談員、職業相談員、教育相談員、経営改善普及指導員 42人
- ・内 容：実務研修、グループ討議、映像視聴
講演「生活支援施策等について」北海道保健福祉部地域福祉課主査
阿部光勝氏

(8) 連帯意識の高揚

各種貸付金の返還について、各個人の責任において必ず履行されるよう償還義務の確認、連絡徹底に努めた。また、償還が滞っている地区協会と連携し償還督促に努めた。

(9) 生活館活動の充実

生活館活動については、各地区独自の活動実施にとどまった。

(10) 市町村への働きかけ

アイヌ民族に関する新たな法律の制定を求めるためには、広く道民の理解が必要であることから、道内市町村議会に対して、国への法律制定を求める意見書提出について協力を要請した。(意見書議決状況：平成30年3月31日現在、68市町村)

市町村が行っているアイヌ関連施策の充実、生活格差の是正等、引き続きアイヌ施策や推進体制が充実するよう働きかけた。

(11) 財政基盤の強化

会費収入は減少傾向(本会員の減)にあり、賛助会員、寄付金などの自主財源の確保に努めた。

3 会務の運営

(1) 理事会、アイヌ協会役員研修・連携会議の開催

総会で議決された事項及び会務の執行を適正かつ効果的に推進するため、理事会を年4回程開催した。

<理事会>

回数	開催日	場所
第1回	平成29年4月28日(金)	札幌市
第2回	平成29年10月11日(水)	札幌市
第3回	平成30年1月26日(金)	札幌市
第4回	平成30年3月24日(土)	札幌市

<役員研修・連携会議>

回数	開催日	場所
第1回	平成29年4月27日(木) 28日(金)	札幌市
第2回	平成29年10月10日(火) 11日(水)	札幌市
第3回	平成30年1月25日(木) 26日(金)	札幌市
第4回	平成30年3月24日(土) 25日(日)	札幌市

(2) 監事の監査機能の充実など

公益法人移行後の平成29年度の執行部の業務や一般会計、特別会計の適正執行に努め、監事監査とともに公認会計士による監査を実施した。

- ・監事会計監査：平成29年12月22日、平成30年4月27日
- ・公認会計士監査：平成30年4月27日

2 事業の推進

(1) 社会的地位の向上に関する啓発と施策の推進

先住民族アイヌに関する知識の普及と理解促進のため、一般市民及びアイヌ当事者に対し、国際人権規範や人種、民族等に係る情報収集や対面交流等、適切かつ効果的手法により各種広報・啓発を行った。

① 広報紙「先駆者の集い」の発行

年3回(B5版p.8)各4,500部発行。協会団体会員本会員、賛助会員や行政機関、研究者等に無料配付した。

②ホームページによる情報発信

当協会ホームページを改新し、先住民族アイヌの情報（組織概要、アイヌ史年表、国連活動、民芸品事業者、観光ガイド等）を発信した。

③印刷物の発行

アイヌ協会の活動を紹介する「アイヌ民族の概説（B5版）」を作成した。

④「2017年 国際先住民族の日記念事業」の開催

「国際先住民族の日」制定趣旨とアイヌ民族の歴史・文化・現状についての啓発事業を実施した。

- ・日 時：平成29年8月5日（土）11:00～15:30
- ・場 所：かでの2・7ビル 4階 大会議室
- ・参加者：一般道民及びアイヌ協会員 80人
- ・内 容：第1部 アイヌ民族の文化遺産を巡る教育委員会とアイヌ協会の協働の取組
講演①「アイヌ民族と歴史と伝統文化～厚真町厚保幌ダム建設の遺跡発掘調査～」
乾 哲也氏（厚真町教育委員会学芸員）
講演②「伊達市における共生社会づくりの経緯と取組」
青野友哉氏（伊達市教育委員会生涯学習課文化財係長）
質疑応答
第2部 先住民族の権利に関する国際宣言に照らした今後の研究の在り方
講演③「先住民族の人権と自然人類学研究」
篠田謙一氏（日本人類学会会長）
講演④「人類学・考古学の研究者との対話～道アイヌ協会が参画した検証・検討作業より～」
阿部一司（北海道アイヌ協会副理事長）
講演⑤「発掘・返還・再埋葬：アイヌ遺骨問題に考古学はどのように関わっていくべきか」
加藤博文氏（北海道大学アイヌ・先住民研究センター）
自由討議

⑤アイヌ文化発信プログラム事業

2020年に開催される「東京五輪」でアイヌ文化を世界に向けて発信することを目的に道内各保存会及び関東4団体、道内外の文化伝承活動を行っている任意団体から構成する「アイヌ文化発信検討会議」を開催した。特に、演出・監督等を担う演出家に検討に参加してもらい、全体構成（舞台の流れと、歌と踊りの組合せ等）の柱に沿ったストーリー展開や、各地域での演示等完成度を向上させるための実施・支援体制の枠組みについて合意形成を行った。

また、公益財団法人東京オリ・パラ競技大会組織委員会森会長に対し、高橋知事、理事長が要請をした。

○第1回検討会議：平成29年5月23日（火）

- 内 容：①(公財)東京オリパラ競技大会組織委員会会長への要請概要
- ②これまでのアイヌ文化発信の検討状況について
- ③アイヌ文化発信の今後の検討の進め方について

ア 提案Ⅰ

「東京オリパラ開会式におけるアイヌ文化発信に向けて」
ユーカラ劇脚本・演出家 秋辺 日出男

イ アイヌ文化発信の検討体制と検討の進め方、演示等実施・
支援体制など

○第2回検討会議：平成29年12月7日(木)

- 内 容：①第1回アイヌ文化発信検討会議の検討内容の確認
②これまでのアイヌ文化発信の検討状況について
③アイヌ文化発信の今後の検討の進め方について

ア 提案Ⅱ

「東京オリパラ開会式におけるアイヌ文化発信に向けて」
ユーカラ劇脚本・演出家 秋辺 日出男

イ アイヌ文化発信の検討体制と検討の進め方、演示等実施・
支援体制など

○第3回検討会議：平成30年3月28日(水)

- 内 容：①情報提供及び協力要請（内閣官房アイヌ総合政策室北海道分室）

ア 情報提供 象徴空間整備の進捗状況

イ 協力要請 体験交流活動等におけるアイヌ伝統芸能上演プログラム
の運営準備に関し「保存会等との連携による上演演
目の検討」

②平昌冬季オリンピック視察報告

③第2回アイヌ文化発信検討会議の検討内容の確認

④全体構成（舞台の流れと、歌と踊りの組合せ等）の柱に沿った
ストーリー展開の枠組み（確認）

ユーカラ劇脚本・演出家 秋辺 日出男

⑤アイヌ文化発信の検討体制と検討の進め方、演示等実施・
支援体制など

<要請活動>

○公益財団法人東京オリンピックパラリンピック競技大会組織委員会森会長への要請

要請日：平成29年5月23日(火) 於 東京 組織委員会

要請者：高橋知事、加藤理事長

要請内容：開会式や関連行事等におけるアイヌ文化の発信及び必要な財源措置

(2) 各種貸付金の貸付

福祉（緊急使途支援）、環境整備（浴室、墓碑整備）、入学一時（大学、私立高校、専修学校）を、道内に居住するアイヌの生活向上や生活環境整備の支援のために、使途に応じて各種貸付を行った。

①福祉資金（緊急に生活資金が必要となった者への貸付／無利子・年度内償還）

・貸付限度額10万円以内 30件（3,000,000円）の活用があった。

②環境整備資金（浴室・墓碑整備に要する費用の貸付／無利子・据置き期間は貸付日の属する年度末迄。その期間経過後2年以内の償還）
平成29年度環境整備資金は貸付を見なかった。

○浴室整備資金

・貸付限度額20万円以内 0件

○墓碑整備資金

・貸付限度額30万円以内 0件

③入学一時資金（大学・私立高校・専修学校の入学時に要する費用の貸付／無利子・据置き期間は各資金種別の修業年限以内経過後3年以内）

○大学入学一時資金

・貸付限度額30万円以内 13件（868,000円）の貸付を行った。

○私立高校一時資金

・貸付限度額20万円以内 2件（400,000円）の貸付を行った。

○専修学校一時資金

・貸付限度額30万円以内 2件（560,000円）の貸付を行った。

（3）職業の確立及び教育の振興に関する施策の推進

道内居住アイヌの就労、就職に係る技能向上や各種免許取得等の所要経費の助成並びに就職相談や求人開拓等に携わるアイヌ雇用推進員設置による指導、アイヌ民工芸品生産者を対象に販路拡大や就業支援、技能向上などの各種支援策を推進した。

①就職奨励事業

○就労や就職に係る支度費用や就職条件のための「就職支度資金」、「自動車等免許取得資金」などの所要資金を助成した。

・就職支度資金23,760円 0件

・技術習得資金50,000円以内 13件（650,000円）の給付を行った。

②アイヌ雇用促進事業

○アイヌの雇用促進に対処するため雇用推進員を設置、就労・就職相談や求人開拓等によりアイヌの雇用と生活安定の促進を図った。

・全道13カ所のハローワークに雇用推進員を配置し、当該業務に従事した。

延べ346日間の活動で502件の相談を受理、98件の就職・求人に結びつけた。

平成29年度活動実績は次のとおり。

項 目		月 別												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1. 活動日数		27	28	29	29	29	29	29	29	29	29	29	30	346
2. 相談 件数	1) 求職者相談件数	46	39	40	48	43	41	42	44	38	35	41	38	495
	有効求職者	33	28	28	37	32	30	33	30	23	25	30	26	355
	新規学卒者	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	4
	その他	12	11	12	11	11	11	9	14	15	9	10	11	136
	2) 事業所相談件数	0	0	0	2	0	0	1	1	1	1	1	0	7
	一般求人	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	3
	新規学卒者	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	3
3. 安定所に取 次いだ件数	求職取次	7	7	9	13	9	8	9	10	7	6	7	7	99
	求人取次	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3
4. 職場適応指導件数		4	3	2	3	2	2	4	6	4	2	1	4	37
5. 安定所に取り次いだ求人 情報のうち求人受理件数 (求人数)		0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
		0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
6. 就職に至った件数		14	11	5	2	9	13	8	9	7	7	5	8	98

③アイヌ中小企業振興対策事業

○アイヌ民芸品生産者の販路拡大や後継者育成、さらには新製品開発や需要喚起、民芸等の製作技術や文化の普及・理解促進のために行う作品展示、製作実演・体験、販売などによる「民芸品展示・販売会」を開催した。

開催地	場 所	期 間	体験講師／実演者
千歳市	新千歳空港 ターミナルビル 2階	平成29年 10月13日(金) ～ 15日(日)	体験講師 長縄由加利、貝澤竹子 実演展示 吉田信男（木ぼりの吉田民芸） 山田祐治（やまだ民芸社） 藤原スエ子（カイザー） 古式舞踊の公演 白老民族芸能保存会 販売者 荒木繁、カイザー、吉田信男、山田祐治
	新千歳空港 ターミナルビル 2階	平成29年 11月11日(土) ～ 13日(月)	体験講師 藤原スエ子（カイザー）、長縄由加利 実演展示 貝澤竹子、荒木繁（あらかき木彫熊製作所） 吉田信男（木ぼりの吉田民芸） 古式舞踊の公演 平取アイヌ文化保存会 販売者 荒木繁、カイザー、吉田信男、山田祐治
	新千歳空港 ターミナルビル 2階	平成30年 2月16日(金) ～ 18日(日)	体験講師 貝澤竹子 長縄由加利 実演展示 荒木繁（あらかき木彫熊製作所） 山田祐治（やまだ民芸社）、石井美香 古式舞踊の公演 鶴川アイヌ文化伝承保存会 販売者 貝澤竹子、荒木繁、吉田信男、山田祐治、 長縄由加利、石井美香
東京都	THE COVER NIPPON TOKYO	平成30年 2月 1日(木) ～ 28(水)	体験講師 間宮喜代子 実演展示 荒木 繁（あらかき木彫製作所）

○博物館の民族資料の熟覧・講習受講等による知識・技能等の向上、先進地視察や国立民族学博物館の外来研究、技術指導受講などによる研鑽、調査研究及び経営研修などを進める「工芸者技術研修」を行った。

<道外研修>

国立民族学博物館に外来研究員としての受け入れを依頼し、アイヌ工芸者の技術向上とアイデアの開発、さらにはアイヌ工芸品の振興発展を目的に研修を行った。

- ・研修期間：平成30年2月14日～2月27日（14日間）
- ・参加者：竹内明美（札幌）／吉根とみ子（帯広）
- ・報告会：研修終了後、研修報告会を実施した。

<道内研修>

アイヌ工芸者の技術向上と経営手法を習得するため、熟練工芸作家による技術指導と経営や販売促進に関する研修を実施した。

- ・研修期間：平成30年1月～3月
- ・講師：①技術指導 優秀工芸師 宮田初枝
優秀工芸師 貝澤 守
②経営セミナー 中小企業診断士 後藤直樹
- ・参加者：斎藤芳子（札幌）／吉村政彦（札幌）／安東春江（幕別）
桃井芳子（釧路）
- ・報告会：研修終了後、研修報告会を実施した。

④「アイヌプロダクツ（アイヌ協会活動促進費）」事業

アイヌ文様を用いた新たな商品開発を推進するため、一般企業等からの問い合わせに応じると共に事業を紹介するパンフレットを制作した。

(4) 民族文化の保存・伝承及び発展に関する施策の推進

①アイヌ伝統工芸展開催事業

- ・期 間 平成30年2月9日（金）～13日（火）
- ・場 所 かでる2・7 1階展示ホール
- ・参加地区数 11地区協会（37人）
- ・出品数及び 伝統工芸品部門 49点 一般工芸品部門 42点 計91点
- ・審査委員 前北海道文学館学芸員 浅川 泰
北海道立総合研究機構 工業試験場製品技術部 日高 青志
（敬称略） 北海道大学アイヌ先住民研究センター 山崎 幸治
北海道テキスタイル協会代表 戸坂 恵美子
北海道アイヌ協会優秀工芸師 西田 香代子
北海道アイヌ協会優秀工芸師 貝澤 徹
- ・受賞者一覧

	伝 統 工 芸 品 部 門			一 般 工 芸 品 部 門		
	作品名	地区名	氏 名	作品名	地区名	氏 名
最優秀賞 （※1）	イタ	平取	藤谷 誠	ペンダント・ピアスセット	釧路	伊藤夕美
優秀賞 （※2）				タペストリー	札幌	早坂ユカ
優秀賞 （※3）	樺太着物と鉢巻きセット	札幌	檜木貴美子			
優秀賞 （※4）	チヂリ（着物）	帯広	廣川和子	タペストリー	釧路	桃井芳子
奨励賞	エムシアツ	札幌	長縄由加利	カムイチェップ	白老	山田祐治
同	カパラミプ	八雲	三原久美子	ちり・ポ	浦河	堀 敏一
同	エムシ	平取	宇南山嘉宣	アットウシ織りバック	札幌	太田榮子
同	ルウンペ （木綿衣）	白老	吉国幸子			
同	ルウンペ	八雲	中田れい子			

※1 最優秀賞（北海道知事） ※2 優秀賞（北海道議会議長）
 ※3 優秀賞（北海道教育委員会教育長） ※4 優秀賞（かでる賞）

②アイヌ民俗文化財伝承・活用事業（道教委委託事業）

○アイヌ民俗文化財理解のための用語や伝統技術の習得、民俗芸能の伝承等の講座を開設し一般市民及びアイヌ同胞への伝承普及等を図った。

- ・アイヌ民俗技術伝承講座 5会場（白老/むかわ/浦河/帯広/釧路）
- ・アイヌ民俗芸能伝承講座 5会場（苫小牧/白老/むかわ/浦河/釧路）
- ・アイヌ民俗文化財総合伝承講座 1回（札幌）
- ・アイヌ民俗技術・芸能伝承講座発表・展示 1回（白老）

③アイヌ民族文化祭事業

国際先住民の10年の周知・啓発と民族文化の伝承と発展を図るため、「アイヌ民族文化祭2017」を開催した。

◆開催日時：平成29年11月4日（土）13:00～16:00

◆開催場所：旭川市民文化会館小ホール

◆入場者数：130人

◆内 容：来賓挨拶 西川将人旭川市長

文化披露Ⅰ アイヌ古式舞踊～動物の動きを模写したものを中心に～

・旭川チカップニアイヌ民族文化保存会

・阿寒アイヌ民族文化保存会

講演「アイヌ文化のなかの自然観」

講師 内田祐一（国立アイヌ民族博物館設立準備室調査官）

文化披露Ⅱ 多文化共生の取組の一つの姿

・HEAT VOICE（釧路出身のボーカル・デュオ）

フィナーレ 皆で大きな輪をつくって踊りましょう

④アイヌ工芸 in みんなく

国立民族学博物館において、アイヌ協会優秀工芸師の作品を紹介し、ワークショップを通じアイヌ文化の理解と工芸品の普及啓発、さらには工芸作家の技術交流を深めた。

期 間 平成29年11月29日～12月4日

場 所 国立民族学博物館1階ホール

参 加 者 優秀工芸師 石井美香（札幌）／貝澤竹子（札幌）／八重清敏（鶴居）
事務局

（5）諸民族との交流及び情報交換

①国内文化交流事業

○北海道大学及び札幌医科大学イチャルパ（供養祭）など、古式に則る先祖供養の実施により伝統文化の体験交流と技能習得による保存活動を実施し、併せて人類学等の研究者、大学関係者との遺骨返還方法等の協議や研究成果の社会還元、相互理解等を図った。

「北大イチャルパ文化交流の集い」－北海道大学アイヌ納骨堂におけるイチャルパー

- ・日 程：平成29年8月4日（金）11:00～14:30
- ・場 所：北海道大学医学部敷地内「アイヌ納骨堂」
- ・参加者：130人

「札幌医大イチャルパ文化体験交流の集い」－札幌医科大学におけるイチャルパー

- ・日 程：平成28年10月4日（水）
- ・場 所：札幌医科大学構内
- ・参加者：100人

○文化理解の促進と伝承活動の活性化を図るため、アイヌ古式舞踊の保存団体を招聘した「芸能交流会」を開催し、各地に伝わる舞踊や歌、楽器演奏等を一般市民やアイヌ同胞に紹介した。

「芸能交流会」

- ・日 程：平成29年9月23日（土・祝）
- ・場 所：真歌公園広場（新ひだか町静内真歌）
- ・集客、参加人数：250人（12団体）

○後継者の育成とアイヌ文化等の理解促進を図るため、「優秀工芸師」による「優秀工芸師秀作展示交流会」を開催し秀逸な作品の展示、技術指導を行った。

- ・日 程：平成30年2月9日（金）～12日（月・祝）
- ・場 所：かでの2・7 1階展示ホール
- ・実演者：優秀工芸師 6人

(6) 道立アイヌ総合センターの管理

北海道条例に基づき指定管理者として道立アイヌ総合センターの指定管理業務を行った。

- ・保守管理業務→設備、備品、資料の保守管理
- ・施設利用に関する業務→利用受付、案内
- ・情報提供に関する業務→資料収集・保管、資料展示室の案内・開設、情報提供
- ・学習事業に関する業務→講習会等の開催、資料提供
- ・管理事業に関する業務→パンフレットの配布、アイヌ文化伝承保存のための普及啓発
- ・利用承認に関する業務→申込書の收受、承認書の交付
- ・災害、事故時対応 →利用者の安全確保、関係機関への連絡通報、応急処置等
- ・各種報告等 →事業報告等
- ・その他 →関係団体との調整等

○一般市民に対しアイヌ民族への理解を深めるため、常設展示や関係図書、史・資料の利活用の促進を図った。施設空間の活用などによりアイヌ文化の体験学習や講習会を実施、伝承と保存活動を推進した。

平成29年度アイヌ総合センター学習事業実績

講習名	日程	講師名	延べ人数
アイヌ刺しゅう講習会 初級	6月19日、28日 7月3日、10日	宮田 初枝	56人 (14人×4回)
アイヌ刺しゅう講習会 中級①	8月21日、28日 9月4日、11日	宮田 初枝	40人 (10人×4回)
アイヌ刺しゅう講習会 中級②	10月2日、16日 23日、30日	宮田 初枝	40人 (10人×4回)
アイヌ刺しゅう講習会 上級	6月19日、28日 7月3日、10日 8月21日、28日 9月4日、11日 10月2日、16日 23日、30日	宮田 初枝	120人 (10人×12回)
合計			256人

○自主事業等の実施

(自主企画事業)

- ・アイヌ民工芸品（北海道アイヌ伝統工芸展受賞作品）をアイヌ総合センター内に展示し、優秀作品の鑑賞機会の提供と伝承技術の奨励を促進した。

(広報活動等)

- ・アイヌ協会ホームページ、講習会周知、かでの広報への施設案内・行事の周知を行った。

(7) 人種、民族に関する調査研究及び提言

先住民族アイヌに関する文化的伝統や慣習、歴史、言語、文化遺産、文化的表現を保持、管理、保護し、発展させるため、必要な情報収集に努めた。

①アイヌ民俗文化財調査事業 道教委委託事業

○故金成マツ筆録、ユカラ翻訳整理及び伝統的な生産業、民俗技術、口承文芸などの調査を行った。

- ・萱野茂二風谷アイヌ資料館保管の金成マツノート中、3話の翻訳整理と原稿化。
表記法等：(筆録原文音素表記・アイヌ語カナ表記・邦逐語訳/対訳) 3編。
- ・民俗技術の調査

資料編

アイヌ施策関連事業

平成29年度アイヌ施策関連事業
 <修学奨励、教育事業関係>

1 高等学校等進学奨励事業【道（振興局）～対象者】

区 分	高校・大学別	人 数	上 限 額	
入学支度金	高 校	国公立	89	23,760円
	(給付)	私 立	20	53,760円
	大 学 (貸付)		24	37,800円
修学資金	高 校	国公立	2,984	月) 23,000円
	(給付)	私 立	744	月) 43,000円
	大 学	国公立	60	月) 51,000円
	(貸付)	私 立	1,032	月) 82,000円

2 専修学校等進学奨励費補助事業【道（振興局）～対象者】

区 分	人 数	上 限 額
入学支度金	14	23,760円
修学資金	360	(月) 23,000円

3 高等学校通学費補助事業【道（振興局）～対象者】

補助対象高等学校の通学に要する経費
 41人に助成された。(限度額7,500円)

4 教育相談員の配置

北海道費で1名（竹内 渉）、札幌市単費で1名（光野智子）
 帯広市単費で1名（佐藤美穂）が配置され教育相談業務が行なわれた。

<地方改善事業関係>

(1) 施設整備事業の実績

(単位：円)

No.	市町村	地 区	種 別	規模等	事業費 A	補助金額 B	うち国庫 負担相当額 (B×2/3) C	うち道費 負担相当額 (B-C) D
1	白老町	竹浦 生活館	生活館	大規模 修繕	14,806,800	11,105,000	7,403,000	3,702,000

(2) 生活館運営費・生活館活動推進事業の実績

(生活館運営費補助金一覧) N o 1

(単位：円)

市町村	館数	区分	総事業費	補助金額	うち国庫負担相当額	うち道費負担相当額
			A	B	(B×2/3) C	(B-C) D
千歳市	1	運営費	4,184,569	2,373,000	1,582,000	791,000
		活動	136,925	102,000	68,000	34,000
		小計	4,321,494	2,475,000	1,650,000	825,000
八雲町	1	運営費	2,730,752	1,876,000	1,250,000	626,000
		小計	2,730,752	1,876,000	1,250,000	626,000
室蘭市	1	運営費	3,551,092	2,294,000	1,529,000	765,000
		小計	3,551,092	2,294,000	1,529,000	765,000
苫小牧市	1	運営費	7,765,549	2,373,000	1,582,000	791,000
		活動	466,340	132,000	88,000	44,000
		小計	8,231,889	2,505,000	1,670,000	835,000
伊達市	1	運営費	3,172,877	2,219,000	1,479,000	740,000
		活動	39,804	29,000	19,000	10,000
		小計	3,212,681	2,248,000	1,498,000	750,000
豊浦町	1	運営費	1,569,342	681,000	454,000	227,000
		小計	1,569,342	681,000	454,000	227,000
白老町	8	運営費	10,955,005	7,140,000	4,760,000	2,380,000
		活動	116,141	85,000	56,000	29,000
		小計	11,071,146	7,225,000	4,816,000	2,409,000
洞爺湖町	1	運営費	294,292	192,000	128,000	64,000
		小計	294,292	192,000	128,000	64,000
むかわ町	11	運営費	11,219,247	8,087,000	5,391,000	2,696,000
		活動	178,887	132,000	88,000	44,000
		小計	11,398,134	8,219,000	5,479,000	2,740,000
日高町	19	運営費	18,262,717	12,939,000	8,626,000	4,313,000
		小計	18,262,717	12,939,000	8,626,000	4,313,000
平取町	12	運営費	19,903,812	9,864,000	6,576,000	3,288,000
		活動	145,677	105,000	70,000	35,000
		小計	20,049,489	9,969,000	6,646,000	3,323,000
新冠町	9	運営費	7,372,513	4,756,000	3,170,000	1,586,000
		小計	7,372,513	4,756,000	3,170,000	1,586,000
浦河町	13	運営費	10,530,077	7,837,000	5,224,000	2,613,000
		活動	263,606	121,000	80,000	41,000
		小計	10,793,683	7,958,000	5,304,000	2,654,000
様似町	9	運営費	12,202,337	7,581,000	5,054,000	2,527,000
		活動	267,938	132,000	88,000	44,000
		小計	12,470,275	7,713,000	5,142,000	2,571,000

次頁に続く

(生活館運営費補助金一覧) No.2

(単位:円)

市町村	館数	区分	総事業費	補助金額	うち国庫負担相当額	うち道費負担相当額
			A	B	(B×2/3) C	(B-C) D
えりも町	6	運営費	5,521,203	3,926,000	2,617,000	1,309,000
		小計	5,521,203	3,926,000	2,617,000	1,309,000
新ひだか町	29	運営費	14,750,645	10,843,000	7,228,000	3,615,000
		小計	14,750,645	10,843,000	7,228,000	3,615,000
帯広市	1	運営費	10,218,621	2,373,000	1,582,000	791,000
		小計	10,218,621	2,373,000	1,582,000	791,000
幕別町	1	運営費	2,731,303	681,000	454,000	227,000
		小計	2,731,303	681,000	454,000	227,000
本別町	2	運営費	1,629,274	1,192,000	794,000	398,000
		小計	1,629,274	1,192,000	794,000	398,000
浦幌町	1	運営費	1,847,193	681,000	454,000	227,000
		小計	1,847,193	681,000	454,000	227,000
釧路市	6	運営費	10,716,297	5,778,000	3,852,000	1,926,000
		小計	10,716,297	5,778,000	3,852,000	1,926,000
厚岸町	1	運営費	587,017	219,000	146,000	73,000
		小計	587,017	219,000	146,000	73,000
弟子屈町	1	運営費	457,957	306,000	204,000	102,000
		小計	457,957	306,000	204,000	102,000
白糠町	1	運営費	4,391,743	2,373,000	1,582,000	791,000
		小計	4,391,743	2,373,000	1,582,000	791,000
標津町	4	運営費	3,541,794	2,635,000	1,756,000	879,000
		活動	100,000	75,000	50,000	25,000
		小計	3,641,764	2,710,000	1,806,000	904,000
合計	141	運営費	170,107,198	101,219,000	67,474,000	33,745,000
		活動	1,715,318	913,000	607,000	306,000
		合計	171,822,516	102,132,000	68,081,000	34,051,000

※ 補助割合は、国2/4、都道府県1/4（間接分3/4）、市町村1/4です。

市町村	館数	区分	総事業費	補助基本額	国庫負担相当額	市費負担相当額
			A	B	(B×1/2) C	(A-C) D
札幌市	1	運営費	5,024,666	3,165,000	1,582,000	3,442,666
		活動	5,731,608	2,000,000	1,000,000	4,731,608
		小計	10,756,274	5,165,000	2,582,000	8,174,274
旭川市	2	運営費	14,899,359	4,073,000	2,036,000	12,863,359

※ 札幌市の数字は実績額、旭川市は実績(見込み)額

※ 札幌市(指定都市)及び旭川市(中核都市)の補助割合は、1/2です。

※ 注：運営費＝生活館運営費　：　活動＝生活館活動推進事業費

(3) 生活相談員

生活相談員が31名配置され、生活相談業務が行なわれた。

市町村名	氏名	市町村名	氏名
札幌市	門脇こずえ 佐々木洋子	浦河町	堀悦子 八重樫志仁
千歳市	上野和広	様似町	古館牧子
室蘭市	相模香奈恵	えりも町	運上英昭 神保太輔
苫小牧市	脇坂智春	旭川市	工藤 稔 小野寺 裕
登別市	芳賀美津枝	帯広市	野尻真理子
伊達市	戸ノ崎郁美	芽室町	太田千代
白老町	小川康信 高野美和子	浦幌町	丹野るみか
むかわ町	佐々木義一 芦谷明美	釧路市	松本里美
平取町	武田弘幸 泉 聖也 日川敏恵	白糠町	大谷 明
日高町	本間一樹	標津町	小林一志
新冠町	板屋越和弘	八雲町	多田光男
新ひだか町 静内庁舎	小田ななえ		

<農林漁業対策事業関係>

2 平成29年度アイヌ地区農林漁業対策事業実績

(単位：円)

市町村名	地区名	事業種目	事業主体	事業量	事業費
長万部町	長万部	(整備事業) 漁業経営近代化施設	長万部漁業協同組合	漁業用作業保管施設 1棟	125,820,000
	長万部	(推進事業) 漁業経営近代化施設	長万部漁業協同組合	フォークリフト 1台	5,454,000
豊浦町	豊浦	(推進事業) 漁業経営近代化施設	いぶり噴火湾漁業協同組合	ホタテ貝耳吊作業機器類	106,844,400
新ひだか町	静内	(推進事業) 漁業経営近代化施設	有限会社大川農場	トラクター 2台 外	39,808,800
3町4地区					277,927,200

<中小企業対策関係>

1 経営改善普及指導員活動実績

中小企業者のニーズに応え、経営改善普及指導員及び地元商工会と連携を図り下記の事業を実施した。

(1) 集団指導

開催日	開催場所	内 容	講 師	人数
平成30年 2月22日 (木)	むかわ町 (むかわ中央 生活館)	むかわ町における観光振興 について	網野中小企業診断士事 務所 代表 網野雅樹	11
平成30年 2月23日 (金)	えりも町 (えりも町福 祉センター)	えりも町における観光振興 について	網野中小企業診断士事 務所 代表 網野雅樹	13

(2) 経営改善普及指導員による個別相談等

区 分	金 融	税 務	経 理	経 営	労 務	取 引	その他	合 計
巡 回	0	0	0	4	0	0	2	6
窓 口	3	1	1	2	0	0	9	16
合 計	3	1	1	6	0	0	11	22

(3) 経営相談日の開設

- ①アイヌ協会事務所で毎週、月・火・金曜日 (9:00~17:00)を相談日として開設。
- ②商工会連合会事務所で毎週、水・木曜日を相談日として開設。

総開設日223日 (うち、アイヌ協会事務所で開設日133日を含む)

<労働対策関係>

1 職業相談員活動実績

平成29年度15名が配置され、それぞれの地区において相談活動が行なわれた。

札幌職業安定所 阿部 一
 札幌東職業安定所 川上容子
 札幌北職業安定所 月山佳代
 千歳職業安定所 常林坊敦子
 函館職業安定所 相馬まり子（八雲出張所）
 旭川職業安定所 中本美雪
 室蘭職業安定所 上西静枝、小名幸子（伊達分室）
 釧路職業安定所 伊賀秀子
 帯広職業安定所 木村寿美子
 苫小牧職業安定所 宮尾直子
 浦河職業安定所 柴野仁子、大空ゆかり
 上村一枝、工藤明美（静内分室）

2 就職資金貸付実績

北海道労働局主管で扱った常用労働者に対する就職資金の平成29年度の利用実績は次のとおり。

区分	単 身		扶養家族（有）		計	
	人数	金 額(円)	人数	金 額(円)	人数	金 額(円)
帯広	1	150,000			1	150,000
室蘭	2	300,000			2	300,000
浦河	2	300,000			2	300,000
苫小牧	8	1,200,000	1	200,000	9	1,400,000
計	13	1,950,000	1	200,000	14	2,150,000

3 公共職業訓練手当支給実績

次の関係高等技術専門学院等でアイヌ子弟に訓練手当が支給された。

<施設内>

学 院 名	人数	内 訳
札幌高等技術専門学院	1	建築技術科 1名
〃	1	精密機械科 1名
苫小牧高等技術専門学院	1	金属加工科 1名
〃	1	電気工事科 1名
合 計	4	

<施設外>

学 院 名	人数	内 訳
札幌高等技術専門学院	1	介護福祉士養成科 1名
〃	8	パソコン基礎科⑳ 8名
苫小牧高等技術専門学院	2	介護基礎科 2名
〃	3	OA事務科4 3名
〃	4	OA基礎科 4名
釧路高等技術専門学院	1	保育士養成科 1名
〃	1	IT基礎科 1名
合 計	20	

4 機動職業訓練

5地区5件の機動職業訓練が行われた。

区分	学院名	訓練科目	実施地	職安	実施期間		訓練状況			備考
					期間	月	定員	入校	修了	
道立	札幌	パソコン基礎科⑳	札幌	札幌	1/5~3/29	3	15	11	10	
	苫小牧	介護基礎科	苫小牧	苫小牧	9/1~10/31	2	20	10	10	
		OA事務科4	浦河	浦河	12/8~3/7	3	15	14	14	
		OA基礎科	平取	苫小牧	1/10~3/9	2	10	8	8	
	釧路	IT基礎科	釧路	釧路	12/1~2/15	2.5	15	12	11	
計							75	55	53	

<住宅対策関係>

1 住宅改良資金貸付事業

平成29年度住宅改良資金貸付事業の実績

(単位：円)

市町村名	住宅新築資金		住宅改修資金		宅地取得資金		合計	
	件数	貸付額	件数	貸付額	件数	貸付額	件数	貸付額
標津町	—	—	1	2,800,000	—	—	1	2,800,000
合計	—	—	1	2,800,000	—	—	1	2,800,000

2 年度別建設実績

年度	資金別 新 築 件	改 修 件	宅 地 取 得 件	合 計 件
昭和48年度	2	12	—	14
49	9	25	0	34
50	40	25	0	65
51	81	27	1	109
52	112	41	15	168
53	130	48	18	196
54	136	47	33	216
55	129	39	37	205
56	112	46	28	186
57	109	39	44	192
58	94	34	32	160
59	80	38	28	146
60	67	36	21	124
61	70	34	23	127
62	67	46	26	139
63	62	35	16	113
平成元年度	58	30	27	115
2	62	30	21	113
3	52	32	18	102
4	43	32	24	99
5	45	25	18	88
6	20	22	22	64
7	30	24	15	69
8	34	25	8	67
9	15	18	12	45
10	22	16	13	51
11	22	20	11	53
12	17	9	10	36
13	13	17	3	33
14	10	14	8	32
15	5	10	6	21
16	5	10	3	18
17	2	5	1	8
18	8	7	2	17
19	3	7	2	12
20	5	6	3	14
21	6	6	5	17
22	4	2	3	9
23	3	1	1	5
24	0	3	0	3
25	0	3	1	4
26	1	2	0	3
27	0	1	0	1
28	0	1	0	1
29	0	1	0	1
合 計	1,785	951	559	3,295